

○伊藤時子 18年卒

今年も「ともかき」が届きました。例年よりはやいのでは(いつも十一月頃では?)と思ひながら七十周年の記念号であるというので納得致しました。名簿も有難うございました。「母校とその周辺は今」「会員だより」「定時制の将来について」等、万感こもこもに拝読致しました。



私は十八年卒業ですから六十年頃の三田周辺のことは知るべくもありませんが、昭和十五、六年から終戦直後の頃、あの街並みの本屋さん、お菓子屋さん、うどん屋さん等、夜景のオレンジ色の街灯の下を黙って家路へかえる、あの頃の青春の日々は楽しくもあり、悲しくもあり、つらいつらい事もあり、いろいろ混ぜ合わされて、甘酸っぱい友情や後悔や、ふと思ひ出されるその頃のごときは誠に懐かしいものがございます。遠く高砂で五十年も暮

○伊藤敦夫 29年卒

らしておりますので母校の同窓会はいつも欠席のご無礼をお許しく下さい。一度だけ四十周年の折に上京致しました。その時いただいた記念品にはつきり四十周年と彫られてあり唯一の記念と大切にしまつてあります。その同窓会の日、懐かしい校舎を眺めたただ茫然と運動場の隅に立つておりました時、面変わりした私をいち早く見つけて声をかけて下さったのが担任の飯山鈴子先生でした。その時のうれしさは今でも忘れません。あの頃学生時代もつと勉強していればよかつたのにとはしばしば思ふことで、勉強に関しては孫にも自慢できません。それも定時制の課題で時間と体力に無理もあつたのではと思ひます。

思いつくままに乱筆にて失礼致します。青葉会に御尽力くださいます諸先生方に厚くお礼申し上げます。

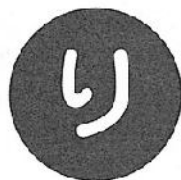
○中島光治 35年卒

この度は立派な会員名簿を送付くださり誠にありがとうございます。皆様方に心よりお礼申し上げます。

三田の四年間は、私にとつて黄金の青春を築いてくれました。熱心な先生方、向学心燃えた友人達の姿にどれほどはげまされたことでしょうか。生活は苦しくても毎日が充実していました。体育のフォークダンスは楽しみでした、特に。母校よ永遠にと願わずにはおれません。何とか存続してほしいですね。東京タワーの様に。

○安達清子 10年卒

私、十九歳で入学して、今八十六歳になります。五十周年には出席させて頂きました。今年「ともかき」有難うございます。私も何回か出していたいております。今は、シラガのお婆さんになりました。耳が遠くなりしましたが、お陰様で健康で折り紙などして毎日暮らしています。



○大塚本子 19年卒

役員皆様方の大変なご努力により素晴らしい名簿が出来上がり本当にうれしく頂戴致しました。有難うございました。

私達十九年一部卒の「なでしこ」の会は毎年クラス会を開いておりありますが、今年も幹事さんのお計いでレインボーブリッジの見えるホテルで開かれました。遠方からお見えになった方々から大変喜ばれておりました。アツと言う間の時間でしたが、名残を惜しみながら来年の再会を約しておひらきとなりました。近況お知らせまで。

○神保敏光 31年卒

貴重な青春時代を共に働き、共に学んだ四年間の三田高校定時制は卒業後も、常に私の人生の誇りとなり、生きる勇気を与えてくれてあります。感謝の念に耐えません。三田クラス会の方はずっと継続されて現在に至っておりますが、誠に残念なことは恩師江藤盛治先生が本年八月ご逝去。母校も五年後には統廃合の計画とか、淋しい限りです。青葉会の皆さんの益々のご活躍を切に願っています。

三田高校の名が無くなることは残念で淋しいです。木筆ながら皆様のご幸福をお祈りして止めます。

